

2025 年度津田塾大学 学修実態アンケートについて

2025. 9

学生生活課作成

調査概要

目的：大学等での学修内容や経験、大学等教育を通じて身に付いた知識・能力、大学等での学びに関する意識等を調査することで、教育の改善につなげることを目的とする。

方法：Google Forms による回答

対象：2025 年度 全学部 2 年生、4 年生

調査期間：2025 年 9 月 8 日（月）～2025 年 9 月 19 日（金）

回答数：96 件

調査項目：

問 1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

（選択肢：4:よくあった、3:ある程度あった、2:あまりなかった、1:なかった）

- 1-1 理解がしやすいように教え方が工夫されていた。
- 1-2 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。
- 1-3 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。
- 1-4 グループワークやディスカッションの機会がある。
- 1-5 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。
- 1-6 ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。

問 2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は 0 を選択してください。

（選択肢：4:有用だった、3:ある程度有用だった、2:あまり有用ではなかった、1:有用ではなかった、0:経験していない）

- 2-1 インターンシップ（5 日間以上）
- 2-2 海外留学・海外研修（短期も含む）
- 2-3 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）

問 3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

（選択肢：4:身に付いた、3:ある程度身に付いた、2:あまり身に付いていない、1:身に付いていない）

- 3-1 専門分野に関する知識・理解
- 3-2 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観
- 3-3 文献・資料を収集・分析する力
- 3-4 論理的に文章を書く力
- 3-5 人に分かりやすく話す力

- 3-6 外国語を使う力
- 3-7 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
- 3-8 問題を見つけて解決方法を考える力
- 3-9 他者と協働する力
- 3-10 幅広い知識、ものの見方
- 3-11 異なる文化に関する知識・理解

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

(選択肢：4:そう思う、3:ある程度そう思う、2:あまりそうは思わない、1:そう思わない)

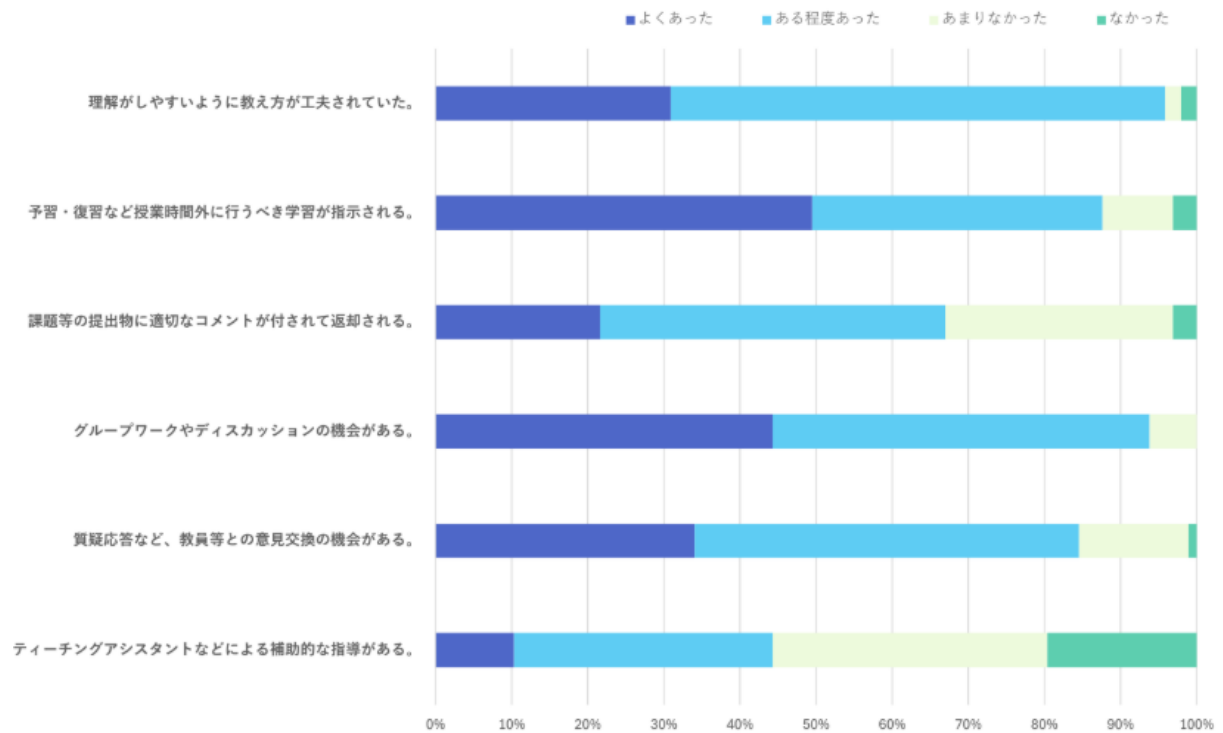
- 4-1 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。
- 4-2 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。
- 4-3 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。
- 4-4 大学の学びによって成長を実感している。

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

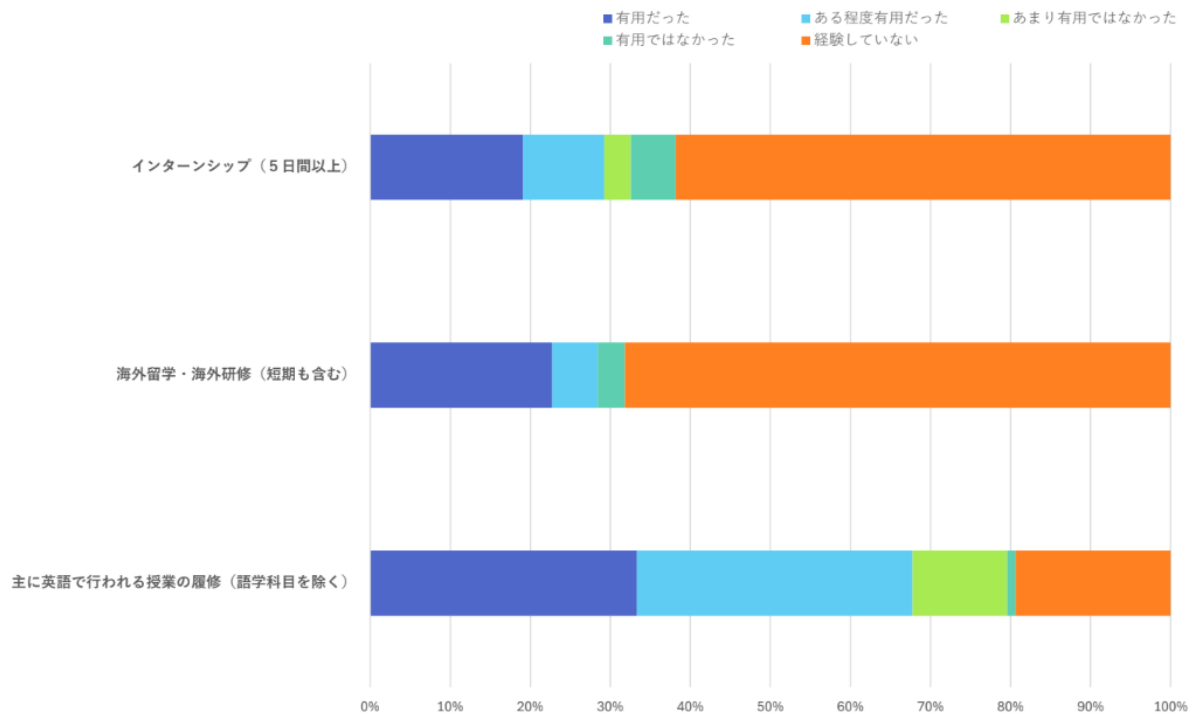
(選択肢：1:0 時間、2:1-5 時間、3:6-10 時間、4:11-15 時間、5:16-20 時間、6:21-25 時間、7:26-30、8:3 時間以上)

- 5-1 授業への出席（実習、オンライン授業を含む）
- 5-2 卒業論文・卒業研究・卒業制作（0-3 で2年生を選択すると非表示）
- 5-3 予習・復習・課題など授業に関する学習
- 5-4 授業と直接関係しない自主的な学習（学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）
- 5-5 部活動／サークル活動
- 5-6 アルバイト

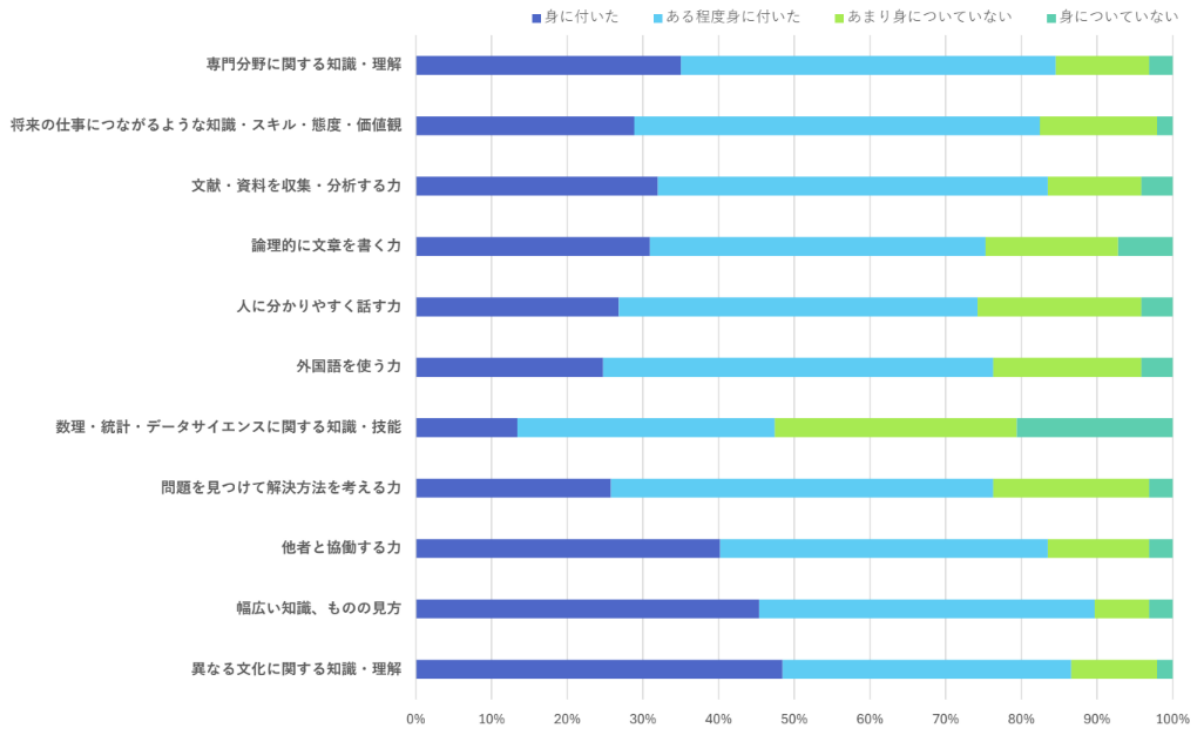
問1. 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。



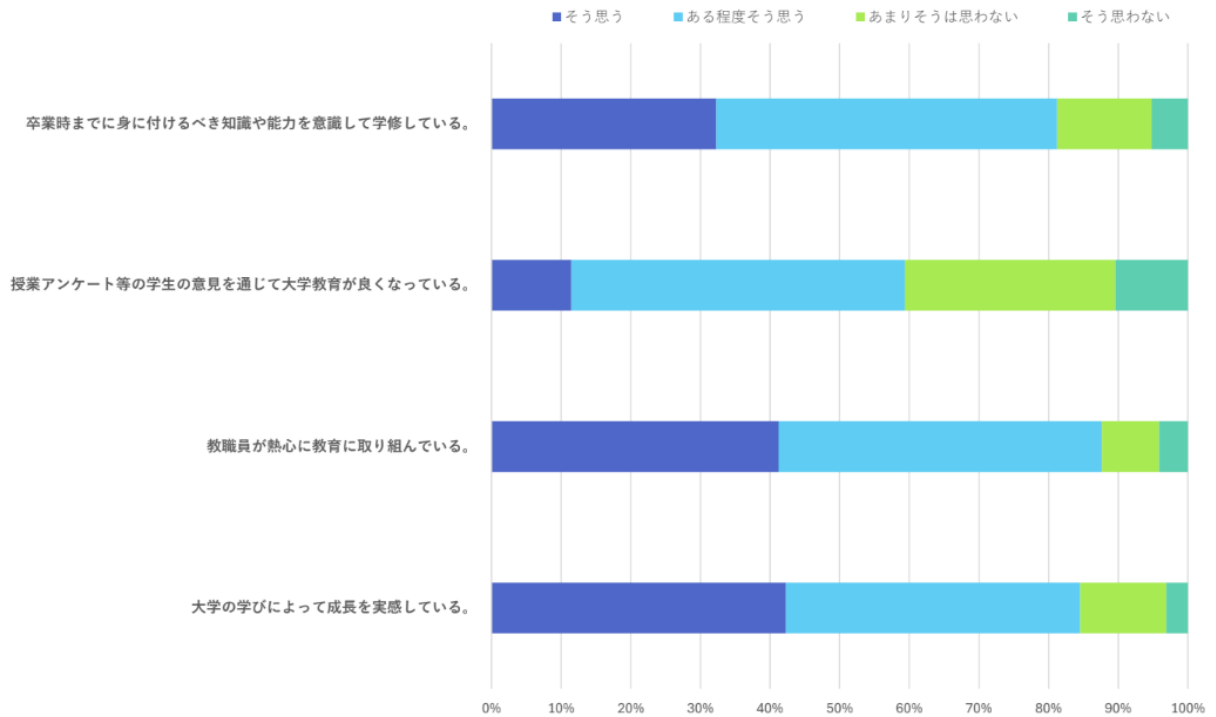
問2. 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。



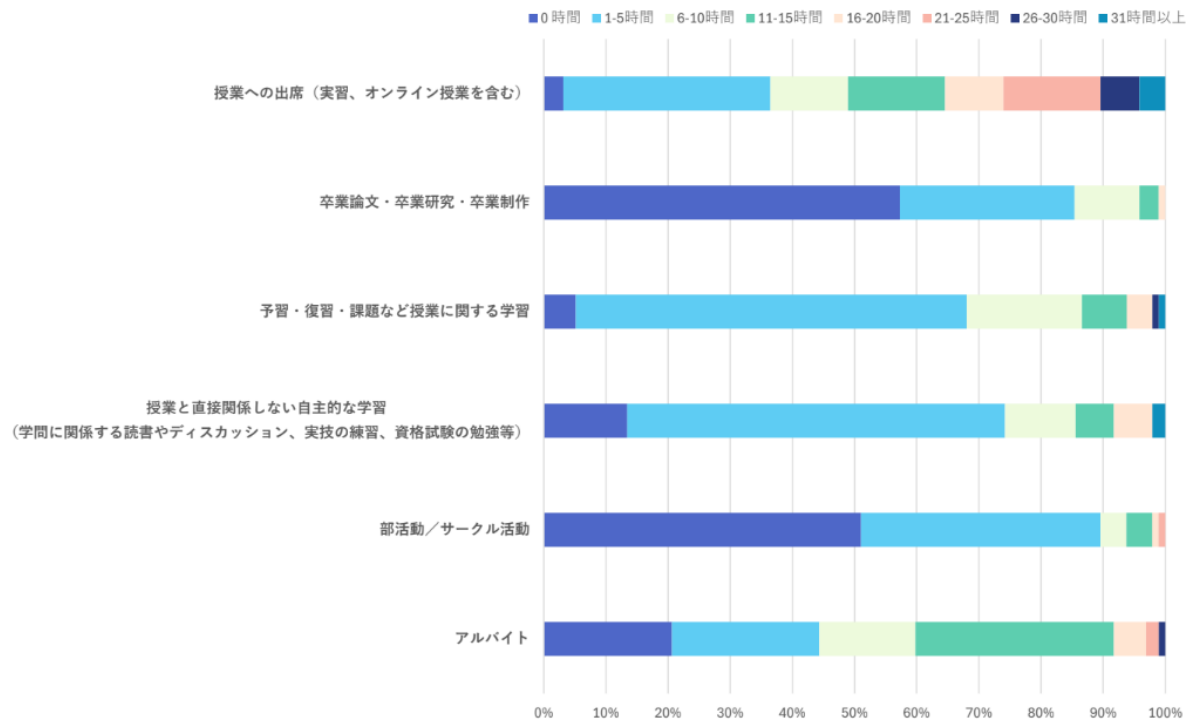
問3. 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。



問4. これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思います



問5. 今年度の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。



以上